

水道版スマートグリッド構想に関する 研究に向けて

吉澤 源太郎¹

¹E-mail: gk-yoshizawa@mx5.canvas.ne.jp

気候変動による渇水リスクが高まる中で、水利用の安定性を確保するためには、水利用の効率化と多元給水化の推進により、水をスマートに使う社会を目指す必要がある。こうした取組は、大規模災害発生の際に直面する医療用水・生活用水・消火用水の不足の解消や、停電・電力不足に伴う水供給能力低下の抑制など、水インフラの防災対策にも繋がる。本発表では、河川水への依存度が高い都市水道システムに、地域に偏在する地下水、工業用水、下水再生水、雨水等の多様な水資源を情報技術により結合させ、自由な利活用を可能とする次世代水供給網の構築(「水道版スマートグリッド構想」と総称する)を提案し、その研究課題を整理した。

キーワード：水道、水資源、多元給水、スマートグリッド